

## 第1回水と緑の森づくり会議（R3.7.26） 委員意見概要

### 【島根県の林業について】

- 伐採された面積に比べて、植栽される面積が以前よりも少ない印象がある。40～50年後に伐採できる木がなくなってしまうのではないかと危惧している。施策を行い、計画的に植樹を行うことが大切なのではないか。

### 【水と緑の森づくり事業の制度概要について】

- 里山は容易に入ることができ、手入れもしやすいが、奥山は入りづらく、管理が行き届かないため、木々が過密になってしまうことで様々な災害につながりやすい。所有者の負担無しで山林の管理を行える再生の森事業はとてありがたいと思う。
- 現在担い手不足が問題視されている。その中で、小さい頃から森林や山について学習し、触れてもらうことで関心を持ってもらうことは大切なことである。そういった教育の場がもっと広がるとよいと思う。

### 【県民参加の森づくり事業について】

- 小中学校で森林教育を行っていただいている、子供たちの反応もとてもよい。このように森林教育の場を与えることができる事業があるのはとてもよいと思う。広がってほしい。